



2024年度食・消費者委員会視察見学会を開催しました！

千葉市環境保健研究所では、細菌・ウイルス・食品化学・大気・水質など、市民生活に密着した様々な検査を行っています。千葉港近くにあった施設を更新し、2023年9月1日に若葉区に移転しました。今回新しくなった研究所の役割や業務の内容について学び、食品安全や衛生に関する知見を広げるため、9月4日(水)に同研究所の視察見学を実施しました。参加者は、食・消費者委員と関心の高い役職員、県連事務局、9人でした。



健康科学課 田中課長

当日は、食品の検査をおこなう健康科学課 田中課長に、食の安全に関する検査事業を中心に施設の概要や検査状況などを説明いただいた後、施設内をご案内いただきました。

初めに、千葉市環境保健研究所の成り立ちについて、お話していただきました。千葉市環境保健研究所は、公害など環境を調べる地方環境研究所と食品などの公衆衛生関係を検査する地方衛生研究所が一つになったものです。食品検査は健康科学課において、食品衛生監視指導計画にある検査計画に沿って実施しているとのことでした。以前から自治体間の連携を図ってきましたが、新たな研究



田中課長から説明を聴く参加者

ご説明の後は、実際に食品、水などの検査をおこなっているフロアを案内いただき、検査作業の様子などを拝見しました。新たに有害物質や危険な薬品などの管理を厳格化しセキュリティを高めた施設内の構造、様々な検査機器を配置した各種研究室、千葉市保健所との手続きの簡素化のためのオンライン設備、国との情報共有を図るデータベースとの接続設備など、館内を巡りながらそれぞれについて丁寧に説明していただきました。参加者からは「日々の食の安全が守られていることが良く分かった。大変感心した」との感想がありました。

所(若葉区大宮町)が県衛生研究所(中央区仁戸名町)に近くなったことで、より連携しやすい環境になったと説明されました。また「市民向けの出前講座」での環境や食の安全に関する啓発活動や「子供向け夏休み教室」の様子など、検査以外の事業についてもご紹介いただきました。



新設の千葉市環境保健研究所

以上